

「自分を磨く」

進路指導部主任 佐々木 勝

新しい年度が始まりました。「出会い」の季節です。自分を変えられるチャンスとも言えます。新しい出会いがこれまでを振り返る機会となり、新しい価値観の創造にもつながり、ワンランク上に自分を成長させる原動力ともなりえます。新しい仲間や新しい先生とともに新しい環境の中で、人間性を高め、絆を深め、成長を信じて、焦ることなく自分のペースでこの一年を充実したものにしたいと思います。

高校時代は自分を磨く時間だと思います。自分の能力を過信することなく、また能力不足を卑下することなく、ブラッシュアップを通してスキルアップに努めることが大事です。そのチャンスは本校の日常に散りばめられています。授業、部活動、学校行事、講演会、資格検定などその一つひとつに意義があり、進路達成に向けての大切な備えとなっています。主体的・積極的に自分の高校生活を磨き上げ、自らが掲げる目標を実現させるために自分を磨く努力を継続してほしいと思います。本校の校訓である「学業の錬磨」を成し遂げ、悔いのない進路選択につなげて下さい。

令和3年度卒業生 国公立大学合格者123名

弘前大医学科2名・東北大9名・一橋大1名・神戸大1名・早稲田大3名・東京外語大1名・千葉大3名

国公立大学合格者は、昨年度の132名に次ぐ123名となり、難関私立大学にも多数合格しています。超難関大学である一橋大や東京外語大にも合格しました。最後まであきらめず、自分の強みと弱点を見つめ、その上で自分のやるべきことを考え、実行した結果です。

国公立大学

()は附属中学校出身者内数

大学	人数	大学	人数	大学	人数
帯広畜産大学	1(0)	北見工業大学	1(0)	北教大釧路校	2(1)
北教大函館校	2(0)	室蘭工業大学	1(1)	弘前大学	19(6)
岩手大学	14(3)	東北大学	9(7)	宮城教育大学	4(2)
秋田大学	4(1)	山形大学	6(2)	福島大学	3(0)
茨城大学	2(1)	宇都宮大学	3(1)	群馬大学	1(1)
埼玉大学	2(0)	千葉大学	3(0)	東京外国語大学	1(1)
東京学芸大学	1(1)	一橋大学	1(1)	新潟大学	3(3)
富山大学	1(1)	山梨大学	1(1)	静岡大学	1(0)
神戸大学	1(1)	愛媛大学	1(0)	はこだて未来大学	5(2)
札幌市立大学	1(1)	釧路公立大学	2(0)	名寄市立大学	1(0)
青森保健大学	7(1)	青森公立大学	6(0)	岩手県立大学	1(0)
宮城大学	2(0)	群馬健康科学大学	1(0)	高崎経済大学	3(2)
東京都立大学	1(0)	川崎市立看護大学	1(1)	横浜市立大学	2(1)
静岡文化芸術大学	1(0)	神戸市立外国語大学	1(1)		
国公立大学 合格者数 123名(44名)					

主な私立大学

大学	人数	大学	人数	大学	人数
早稲田大学	3(2)	青山学院大学	3(1)	明治大学	4(2)
立教大学	1(0)	中央大学	3(0)	東海大学	12(4)
日本大学	3(1)	津田塾大学	2(0)	駒沢大学	2(1)
法政大学	6(4)	東京農業大学	2(0)	東北学院大学	12(0)
私立大学 合格者数 231名(51名)					



1. 学校生活について

項目	1 年 生	2 年 生	3 年 生
進路志望の推移	一橋大学 商学部	一橋大学 商学部	一橋大学 商学部
部活動・生徒会活動	吹奏楽部	吹奏楽部	吹奏楽部
起床・就寝時間（平日）	起）6：00 就）22：00	起）6：00 就）22：00	起）6：00 就）23：00
起床・就寝時間（休日）	起）7：00 就）23：00	起）7：00 就）23：00	起）7：00 就）23：00
授業外の学習時間（平日）	0.5～1時間	0.5～1時間	5時間
授業外の学習時間（休日）	2～3時間	2～3時間	10時間
平均睡眠時間	8時間	8時間	7時間
塾・家庭教師の利用	無	無	無
通信添削の利用	無	無	無
得意・不得意科目	得）特になし 不）特になし	得）特になし 不）特になし	得）国語・英語 不）数学

2. 志望校について

附属中にいた頃お世話になった高校生の部活の先輩が目指していたことから、一橋大学に興味を持ちました。調べていくうちに、少数制で濃い学びができることやキャンパスの美しさ、就職に強いことなどを知ってさらに行きたい気持ちが強くなりました。また、自分の関心と将来を考えて商学部志望にしました。共通テストは想定よりも得点が伸びず共通テストリサーチでC判定だったため、正直厳しい、と周りの人にやんわりと止められました。東北大学を勧められ変えようか悩みましたが、どうしても一橋大学に行くことを諦めきれなかったので出願しました。

3. 勉強・受験勉強について

〈勉強の取組みについて〉

- ① 1年生：基本的には部活中心の生活でした。家での勉強時間が少なかったため、授業時間内でできる限り覚えるように集中していました。小テストは毎回満点をとるつもりで取り組みました。テスト部禁中はその範囲を完璧にするために、かなり勉強しました。
- ② 2年生：1年生の頃とほとんど一緒でした。2年生の後半からは、模試を復習することを覚えました。
- ③ 3年生：部活を早めに引退したので、時間が膨大にありました。もてあまさないように、今日はこれをやる、という目標をしっかりと立て勉強しました。

〈受験勉強について〉

一橋大学を受けると決めていたので早い段階で赤本を買い、目に付くところに置いて、モチベーションをあげていました。ここからが受験勉強、という境界はあまり意識せず、教科書の勉強の延長線上にあるような意識でした。また、飽き性な性格なので、勉強法はあまり固定せずにその時に一番テンションがあがる方法で勉強していました。どうすれば効果的にできるのかの自己分析を大切にしていました。ちなみに、おすすめのモチベーションの維持方法は推し参考書をつくって、それをやり込むことです。私の推しは「鉄壁」です。

4. 試験について

〈共通テストについて〉

国語と英語は時間との闘いだったので、家で演習するときもタイマーを使ったり腕時計で時間管理をしたりしていました。理科と社会は間違ったところをノートにまとめて隙間時間にみっていました。このノートは共通テストの会場へ持って行って直前の確認にも使いました。数学はどうして正解に至らなかったかの分析を徹底的にしました。直前期に点数が伸び悩み、一問間違う度にへこむ時期もありましたが、自分の知識の抜けに本番より前に出会えたことに感謝、というように気持ちを切り替えて頑張りました。本番で大切なのは終わった教科を綺麗に忘れることです。突然難化しても、平常心です。

〈個別学力・私大・総合型選抜・学校推薦型選抜の試験について〉

二次が国数英社の4教科だったので、やることが多く大変でした。問題に癖がある学校なので、とにかく過去問をこなしました。教科によりますが、どの教科も少なくとも10年分くらいはやったと思います。数学は特に苦戦しましたが、量をこなすことで少しずつ慣れていきました。また、どの教科も記述を重視していたので、学校の先生に添削指導をして頂きました。自分だけでは気づかない部分も多く、塾等には行っていなかったため、非常にありがたかったです。人の意見を素直に聞く心は絶対に忘れてはならないと感じました。本番は慣れない環境で全力をだしきらなくてはならないので、前もってイメージトレーニングを入念に行いました。知っている人が誰もいなくて不安でしたが、心の準備が万全だったのでなんとか乗り切れました。

5. 先輩へのアドバイスやメッセージ

受験において一番大切なのは体調管理です。よく寝て、よく食べて、無理な日は潔く休みましょう。頑張ることはいいことですが、頑張りが過ぎることは良くないことです。特に、受験生はメンタルを崩しやすいので、適度に息抜きも必要だと思います。大切なのは自分の85%くらいのクオリティーの勉強を毎日することです。ずっと100%だといつか疲れてしまうので、自分が毎日続けられるペースが一番です。また、1・2年のうちは勉強ももちろん大事ですが、勉強に拘らず、何かに一生懸命頑張る経験があるといいのではないかと思います。私はかなり部活に傾倒していましたが、そこで培った計画性や忍耐力が受験にも生きたように感じます。辛いときのもうひと踏ん張りや、失敗した後のメンタルコントロールは部活で苦境を乗り越えた自信が支えてくれました。志望校が決まらなくても、目の前にあることにがむしゃらに取り組んでみるのもいいのではないのでしょうか。最後に、勉強が楽しいという気持ちを忘れないことです。解けなさ過ぎて辛いことはもちろん沢山あるでしょう。そんな時は、難問が解けたときの嬉しさや、問題の美しさに感動する気持ちを思い出し、今より賢くなった少し未来の自分を想像してください。ひと踏ん張りするくらいのやる気は湧いてくると思います。そのひと踏ん張りの積み重ねがきっと合格への道です。悔しすぎて泣けるくらい頑張った人が、そしてそこで折れずに歯を食いしばった人が、最後に笑う人なのだと思います。頑張った人が報われるとは限りませんが、報われる人は頑張った人です。皆さんが最後に笑っていることを心から祈っています。